

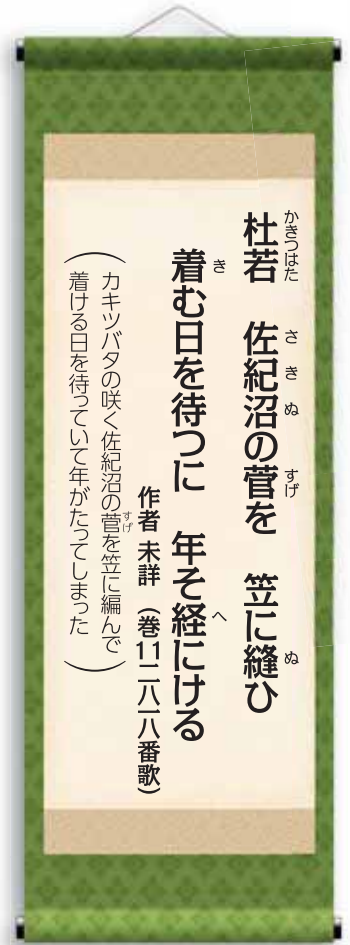


はじめての
万葉集

日本に現存する最古の和歌集『万葉集』をわかりやすくご紹介。

新連載

カキツバタの咲く佐紀



『万葉集』には約四五〇〇首の歌があります。その中で、少なくとも二五〇種類以上の植物の名前が約二〇〇〇首もの歌によまれています。この連載では、植物がよまれた県内の歌をご紹介します。

この歌には、「咲く」から「佐紀」を連想させて、佐紀沼の菅を笠に編んで着ける日を待っていて年がたつてしまった、とあります。次の二八九番歌「おし照る 難波菅笠 置き古し 後は誰が着む笠ならなく」と一組の歌になつていて、こちらは女性側が、あなたを待ち続けてすでに年をとってしまった、と返した歌です。どちらの歌も、結婚することをスゲの笠を着ることにたとえて表

現しています。

『万葉集』に「佐紀」と詠まれた場所は、現在の奈良市佐紀町に、二条町、山陵町なども含めた広い地域だったと考えられています。「佐紀沼」や「佐紀沢」とあることから、沼や沢の多い場所だったようです。

スゲは水辺に生える植物で、笠や蓑の材料としてよく使われていました。カキツバタも、湿った場所に育つ植物です。濃い紫色の大きくあでやかな花を咲かせ、その美しさから、美女のたとえにもなりました。

この歌の表現の中心は佐紀沼のスゲで編んだ笠にあるのですが、カキツバタという名前が最初にあることで想像をかき立てられ、花咲く佐紀の地と相手の女性との美しさが思われます。

(本文万葉文化館 井上さやか)

作者未詳(巻11二八八番歌)
カキツバタの咲く佐紀沼の菅を笠に編んで着ける日を待っていて年がたつてしまった

杜若 佐紀沼の菅を 笠に縫ひ
着む日を待つに 年を経にける



クイズ

わたしは、「万葉ちゃん」！
今回から、万葉集についてクイズを出していくね。
あなたは、何問できるかな。

今月の問題

Q 『万葉集』にはいつ頃の歌が載っているでしょうか？

① 2, 3世紀頃
② 7, 8世紀頃
③ 10世紀頃

答えは来月号を見てね♪

万葉ちゃん

カキツバタとは、湿地に群生する植物です。まっすぐに伸びた茎の先に、濃い紫色の大きくあでやかな花を咲かせます。花を衣に摺り付けて色を移す、花摺の染料にもしたようです。今回のお話の舞台の近く、法華寺(奈良市)などで、5月上旬から下旬にかけて美しい杜若を見ることができます。

カキツバタ